



ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

RI会長 イアンH. S. ライズリー

第 2309 号 2017 年 9 月 12 日

No. 10

例会日：毎週火曜日 12:30~13:30
例会場：岐阜都ホテル TEL.295-3100
事務所：岐阜商工会議所 TEL.264-9235

会長：渡部 勝裕 会長エレクト：渡辺 敏昭
副会長：豊田 雅孝 幹事：廣川 重幸
会報委員長：平井 繁利

<四つのテスト>

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

W E E K L Y B U L L E T I N

本日のプログラム

9月12日(火) 第2309例会
 更生保護法人「洗心之家」支援
 卓話：青木 建作 様
 (更生保護法人「洗心之家」施設長)
 担当 青少年奉仕・インターアクト

次例会の予定

9月26日(火) 第2310例会
 早朝例会(岩戸公園)
 卓話：武藤 洋照 会員
 担当 プログラム

< 前 回 の 記 録 >

副 会 長 挨拶

副会長 豊田 雅孝



9月のロータリーは基本的教育と識字率向上月間であります。
 岐阜県の障害者教育と言えば、美濃ロータリーの井上久朗さんが突然お亡くなりになられ、1年が経ちました、岐阜東ロータリーにも卓話に3回ほど来られました。寂しいかぎりです。社会福祉法人からロータリーへの入会は井上さんが岐阜県では初めてです。
 9月のガバナー月信を見るとたくさんのお入会会員が紹介されていますが、ここ数年、福祉事業からの入会も増えてきました。岐阜東ロータリーは福祉事業では林武会員がいますが、今後も福祉事業からの入会を期待しております。
 本日は9月2日、岐阜Bグループ6クラブ合同例会、IM、ガバナー公式訪問の報告をしていただきます。本日もよろしくお祈りいたします。

出 席 報 告

委員長 安田 達雄

会員総数 51名 / 出席免除者 10名 / 本日の出席者 31名 / 本日の出席率 63.27%

米寿記念品贈呈

大森 繁夫 パスト会長



定例理事役員会

9月度定例理事役員会

1. 地区大会について

出席要請者の登録料など必要経費をクラブ負担とする…………… 承認

【概算】 登録料： 160,000円（16名） 会長宿泊費： 6,500円
会長交通費：2,500円 会長夕食会費：15,000円
※移動手段を自家用車ではなく、バスでの移動とする

24時間テレビ チャリティ募金 ご協力お礼

青少年奉仕・インターアクト委員会

富田高等学校 インターアクト部

去る8月27日（日）に行ないました「24時間テレビ チャリティ募金」におきましては皆様方の多大なるご協力誠にありがとうございました。

おかげさまで157,138円の募金を集めることができ、全額を「中京テレビ 24時間テレビチャリティ」に送らせていただきました。

また募金だけでなく、多くの方に温かい励ましのお言葉をかけていただけたことにも併せてお礼申し上げます。

ご協力誠にありがとうございました。



ニコニコBOX

委員長 安田 達雄

渡辺敏昭君 大森会員には今月米寿のお誕生を迎えられ、誠にめでたうございます。今後共、健康でご長寿祈念申し上げます。

廣川重幸君 9月2日に開催されました岐阜Bグループガバナー公式訪問合同例会IMに大勢の会員の皆様にご出席頂き、ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

渡部勝裕会長 会長職も2ヶ月を経て慣れては参りましたが、まだまだ至らぬ所ばかりです。今後とも執行部、会員の皆様のお支え宜しくお願い致します。

I M 報告

IMについて思うこと

R情報・規約（クラブ史）委員長 浦田 益之



29年9月2日の岐阜BグループIM（岐阜都ホテル／岐阜南RC運営）では、その研修目的に「10年後のあなたのクラブはどうなっているか」をテーマとしたシンポジウムに参加した。コーディネーターやシンポジストに、他分区のガバナーで、国際RI規定審議会の委員をつとめているか、つとめた事がある4人の方を呼んで行われた点は、新しい試みであり、大いに評価できる。

規定審議会の動きや日本委員の意見が通っていない事などの状況も分った。また、話を聞くと、今、国際RIで起きている事の情報が末端の会員に殆ど届けられていない現実を知った。

それよりも、上記テーマを裏返せば、この期に活性化しないと、このままではRIクラブが立ち遅れてしまうといった恐れが隠されている事になる。それが為に、処方箋として「大幅な柔軟性」に頼ろうとしている。

だが、その方向が正しいかは別問題だ。シンポジウムでは、ロータリアンの事に触れずにおいて「クラブの在り方」だけを取り上げ、そのうえ、

▷地域に密着した貢献がない

▷R I としての認知度がまだまだ低い

▷全会員の参加でコンセンサスを決めるべきである

▷大きな事業を展開しなければ

▷そのためには会員を増強して或る程度の規模を確保する必要がある

▷クラブで行う事が職業奉仕になる

などの事が強調された。

R I 戦略計画なるものも持ち出しては、

①クラブ奉仕の原点に戻る

②効果のある奉仕活動を推進する

③公共や社会における存在感を打ち出す

と訴えている。

私なりに考えて、以上の結論が国際R I ターゲットの「変化をもたらす」事につながるかは疑問であり、10年経っても変わらないのではないかと。なぜなら、ロータリーの本質と理念は、一人ひとりの会員の職業奉仕からスタートしており、クラブはその会員の努力なり成果を認め、支援する関係に置かれていたのに、その比重の掛け方が違ってきている。

会員（ロータリアン）ではなく、大きくなりすぎた会（R I クラブ）をどう維持させるかに腐心している姿が見て取れる。

変えるべきは、ロータリーの原点であり、クラブ奉仕の原点ではない。

「人は変えてはならないものを変えたがる」の轍を踏んでしまった。

独断と偏見と言わせない為に、別途「ロータリー問答」を用意し、もう一度ロータリーの本質と理念を問い直してもらいたく、週報に載せて提供する事にした。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

ロータリー問答

「あなたはロータリアンですか」と問われた時、どう答えるか。「ロータリーについて何が分かっていますか」とくると、もうお手上げだ。そこで慌てて、ロータリー関係の文献を引き出して当たってみると、『ロータリーとは、人道的な奉仕を行い、全職業界における道徳的水準の高揚を奨励し、全世界に善意と平和を築くために、国際的に結ばれた職業人の団体である。』と、その理念がまとめられている事が分かった。

こんな書き方ではすぐには頭に入らない。それでもキーワードを拾ってみると

- ・職業人
- ・団体
- ・奉仕
- ・善意と平和

の4つになるかと思われる。

職業人というからには、業種（業界）を代表するところに特別の意味を見出す事ができる。そうでないと、他の団体と何も変わらない。代表するからこそ「奉仕の務め」が要請される事になるのではないかと。考えるに1業種1代表制が崩れた事から、ロータリーの迷走が始まった。

この場合、団体は、個々のロータリアンが、職業奉仕をするうえで、実地訓練の場となる機関を指すにすぎず、クラブは、奉仕活動をする事自体がその目的とされていないと判断される。ニコニコBOXも会員の努力と成果を認めて励まし合う事のためにある。ところが、ここに彼此の混同があったりしないか。

奉仕は、これもよく分からない。日本流に解せば、「利他の精神」を実施する事か。ロータリーは、親睦に始まると言われているが、それも、奉仕の発揚は、広くは人間に対して深い信頼が寄せられた時に起きるから、その効果を上げる一つの方法として、勧められていると捉えるべきであろう。

もっとも、奉仕とか道徳を大上段に構えて唱える人は昔から信用されないと相場が決まっている（男は黙って勝負するものだ）。

善意なくして、人間関係は成り立たない。

かくして、「ロータリーは、人間関係を改善する事によって、安定した社会をつくり、その結果としての平和

な世界を構築すべく貢献する」—これが存在意義と言えるかも。

それでいて、ロータリーでは政治の話はすべきではないと教えられている。政治の目的が平和の実現にある事を、なぜ無視するのか。

果たして、こうした理解で正しいのかどうか。【ご批判を乞う】

「そのうち分かるから」と先輩は言うだけで、実は何も教えてはくれない。あるいは、分かる必要がないのがロータリー？

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

I M (Intercity Meeting) に参加して

副会計 不破 達生



本年度、副会計を務めさせていただいております不破達生と申します。よろしくお願ひ致します。去る9月2日、都ホテルに於いて行われましたガバナー公式訪問合同例会に出席し、その後のI Mも拝聴致しましたので、その感想を述べさせていただきます。

昨年に引き続き、今年もガバナー公式訪問・岐阜Bグループ合同例会とI Mが同日開催になりました。昨年のI M報告で服部会員がその話をされたのが印象に残っておりましたので、今年もそうなんだと思った次第です。ちなみにその前年とは振り返りますと、合同例会とは別に開催され、我がクラブがI Mホストクラブとして実行委員会まで立ち上げて盛大に催した年で、自分も記念誌のために写真を撮りまくった事を思い出しました。

回顧はこれくらいにして、合同例会の後に行われた今回のI Mでは、

メインテーマ：「10年後のあなたのクラブはどうなっているのか」

サブテーマ：～今後の日本のロータリーはどこへ向かうのか～

～2016規定審議会から見えるこれからのロータリー～

と題して、コーディネーターに2018～2020年度R I 理事を務められる三木 明氏、そしてシンポジストとして、新藤信之氏、曾我隆一氏、野口 清氏の以上4名のパストガバナーが壇上に上がり、規定審議会での内容などを話されました。しかし残念ながら、中々お話の内容を理解するまでには至りませんでした。シンポジストの3名の最後にお話し下さった野口様が、私のような凡人にもある程度分かるように目線を下げて話して下さいましたので、少しだけ理解できたところでした。今回、I Mの報告をしてほしいという事で、録音をしましたので、帰宅してからシンポジウムを振り返る事ができ、やっと規定審議会が何ぞやとか、少し理解を深める事ができました。3年に一度、R I 国際ロータリー規定審議会が開かれ、立法案の審議を経て、定款・細則に加筆または変更がされている事、それが手続要覧という形になっている事、その中の例外規定など決定内容に色々ご意見があるという事などが理解できました。

今回I Mに参加した事によって、ロータリーの奥深さを改めて感じさせていただきました。基本的なルールも常に変化し進化を続けている中で、自分にできる範囲ではありますが、東クラブの一員として奉仕活動に参加していきたいと考える次第であります。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

会長 渡部 勝裕

9月2日、合同例会、ガバナー公式訪問、I Mについてご報告を申し上げます。I Mについては他のお2人からも報告がありましたので、午前の田山雅敏ガバナーと岐阜Bグループ会長、幹事懇談会を中心にご報告致します。

開催中、田山雅敏ガバナーの訓示で印象深かったのが、例会回数等、各クラブの自主性を求める、例えば、世界の例会は朝が10%、昼30%、夜60%（内夕方20%、夜40%）、日本は90%がお昼です。

世界のガバナーは530人の内100人、約20%が女性です。日本の場合、34名の内1名しか女性がおりません。先進国の日本、アメリカ、オーストラリアは平均年齢が非常に高く発展途上国は若い人が多い。多様化、活力の為に若年、女性、例会の自主性が必要。

現在1万人に7人のロータリアンを14人に増員したい。変化をもたらしてもらいたい。ロータリーの友8月号に高崎RCが64人から1年間で51人増の115人にした事例が掲載されている。内容は会員増強の秘訣は「例会



を面白くすること」、新会員が口コミで魅力を広げてくれる。若年が集まった親睦委員会は例会をどの様に盛り上げるか趣向を凝らしている等、一読下さい。懇親会は杉山ガバナー補佐より「今年は自主性を考える1年」発言から始まり、各会長報告に移りました。

岐阜東RCの今年度のテーマについては、伝統は守りつつ、改革すべきは改革する。

例会数は44回ですが、全出席を強要しない。2回以上の出席を目指す。メーキャップによる出席率向上は計る。会員減少の折、2つの委員会を合併して活性化を計りました。継続事業は承継する。例会では次の3点を習慣付ける。①一味、一工夫を…発表の内容、仕方等、②時間管理と事前打合せや段取りで有意義に。卓話は内容の確認と時間管理を心掛ける。③新入会員のフォロー。退会防止のためのブラザー制度。全会員が新人への一声掛け運動の推進。

クラブの状況については、期首会員数51名、委員会構成は前年度の定款・細則の変更に伴い4つの常設委員会を設置。行動計画として、長良の風運動の充実を検討中。

会員増強については、最低2名の増強を目指す。入会金10万円、年会費26万円。若年層、女性の勧誘については、従前会員の思いとRCに求める事柄が違うという事をよく理解して勧誘に臨む。価値観を押し付けない。現況のお願いをして入ってもらう姿勢で良いのか。質と量に対して全会員にそのジレンマがあるのではと思う。

東RCの発表に対して田山ガバナーより

- ・増強についてハードルを下げる考えはない。
- ・公務員のOBや大企業のUターンなど会費を半分にするシニアルールなどを作って…50代を勧誘。
- ・女性会員は増加の傾向にある。
- ・会員増強委員会、H30年1月開催予定で各クラブには近況報告を。
- ・ガバナーのRCでは日系外国人に奨学金制度があり、特別会費を徴収して対応している。

他のクラブの発表が、一番参考になると思います。

東南RC

- ・養護施設の子供に年末に寿司。月1回例会を減らし活動費に充当している。
- ・高齢者の退会の影響が大きい。
- ・地元で詳しい学校長OBなど教育委員会に勧誘を働きかけている。

加納RC

- ・中山道RCと合併、全会員3分間スピーチで融和に心がけている。
- ・12月には国際会議場で40周年。障害者など700名を集めてクリスマスコンサートを計画中。
- ・加納天満宮に1台残っている山車の保存活動に参加。
- ・地元加納の歴史編纂活動にも協力。青少年に配布予定。
- ・H28年12月、細則変更。クラブ管理運営委員会、奉仕プロジェクト委員会、公共イメージ委員会を新設。これから中身の充実を…。
- ・退会防止には例会の充実。ここ数年で40歳代の入会が10名程度あり、若返りを果たした。二世会員やJCなどに働きかけている。入会金20万円は下げるつもりはない。

ガバナーより

- ・新入会員の退会は、入ってみると違っていたということが多い。入会前の案内が不十分、また、入会後のフォローが大切。

エトスRC

- ・現在17名。少人数なりの活性化を目指している。
- ・複数年度事業が苦手で補助金事業などやったことがない。長期ビジョンの確立が課題。
- ・昨年25周年には中学、高校生800名のコンサートで盛り上がった。
- ・新入会員にとっては定例の事業は意味がわからない。
- ・6月に細則変更を予定しており、委員会構成の変更も計画中。

ガバナーより

- ・本来のテリトリー（地域）などクラブの位置づけを再確認し、どういうクラブにしたいのか、事業はどうするのか、そのために会員数はどの程度必要なのか考えてほしい…。

岐阜城 R C

- ・現在14名。23名いないと年度決算が赤字になる。
- ・昨年末4名の退会あり。今期は会員増強が課題。
- ・外部卓話者を入会させる。クラブ負担のビジターデイを設けるなどして進めている。
- ・入会金は20名になるまで5万円に減額している。
- ・長期計画委員会で10年後どうなっていたいか検討している。
- ・地区補助金はクラブとして3回。鮎の放流事業を継続事業とすることを計画中。
- ・細則変更は現在検討中。

ガバナーより

- ・例会プログラムが貧弱だとクラブの質が落ちる。これに加えて良い事業が結果として増強につながる。

南 R C

- ・100名以上への会員増強を果たした。
- ・入会1年未満が30名以上。
- ・新入会員が新入会員を勧誘するようになり、好循環化。

ガバナーより

- ・素晴らしい会員増強なので、ロータリーの友に取材を申し込む。



絵：渡辺 敏昭

(編集責任者 平井 繁利)